

BOSE

QUIETCOMFORT HEADPHONES (2ND GEN)

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

適合宣言書については、www.Bose.com/complianceを参照してください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせください。製品が正常に動作しない場合や、物理的に破損した場合には、修理が必要です。

警告/注意



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。**3歳未満のお子様には適していません。**



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。



この記号は、本製品で互換性のない電池/バッテリーや不適切な方法で取り付けられた電池/バッテリーを使用すると、安全上の問題が発生する可能性があることを意味しています。電池/バッテリーに関するサービスオプションについては、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、bose.com/battにアクセスして詳細をご確認ください。

- ・火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- ・本製品では、**Bose**認定の互換性のある電池/バッテリーのみをご使用ください。電池/バッテリーに関するサービスオプションについては、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせください。
- ・電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- ・本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・電池/バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- ・ヘッドホンの回転、折りたたみ、ケースへの収納、ケースからの取り出しの際は、左右のイヤークップの真ん中あたりに手を置いてください。指を挟まないように、ヒンジに指を近づけないようにしてください。
- ・本製品はお子様のご使用を想定していません。
- ・耳への負担を避けるため、ヘッドホンを大音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンを耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- ・車両の運転中に本製品を使用することは、一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。使用について十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。本製品の使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- ・ヘッドホンから異常な音が聞こえる場合は、ヘッドホンを使用しないでください。そのような場合は、ヘッドホンの電源をオフして**Bose**カスタマーサービスにご連絡ください。

- ・ 製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。
- ・ 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・ この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- ・ 許可なく製品を改造しないでください。
- ・ 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。

警告: 潤滑剤、洗浄剤、接点スプレー、炭化水素系溶剤など、Boseが指定していない化学物質に製品をさらさないでください。このような物質にさらされると、プラスチック素材が劣化し、ひび割れが生じたり危険な状態を引き起こしたりする可能性があります。

注: 本製品は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生・利用・放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていることを確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・ 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本製品は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本製品は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

この製品はIMDAの要件に適合しています。

FCC ID: A94443644 | IC: 3232A-443644

CAN ICES (B) / NMB (B)

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz | 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

比吸収率(SAR)に関する情報

周波数帯	報告済みの最大SAR (W/kg)
	SAR 1gにスケール
BT-EDR	0.00
SAR制限 (W/kg)	1.6



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則: 会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。



充電器から供給される電力は、無線機器に必要な最小1.8ワット以上であり、最大充電速度を達成するには最大2.5ワット以下でなければなりません。

電力状態に関する情報:本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令 2009/125/EC およびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU 離脱)規則 2020 に基づき、欧州委員会規則(EU) 2023/826 に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/compliance にアクセスし、該当する規則を選択してください。

この製品の充電式リチウムイオンバッテリーの取り外しはサービス担当者にお任せください。詳細につきましては、弊社Webサイトを参照してください。



廢電池請回收

使用済みの電池/バッテリーは、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



Li-ion



R-C-Bos-443644
보스코리아 유한회사

有毒/有害物質または成分の名称および含有量

有毒/有害物質および成分										
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミ ウム (Cd)	六価ク ロム (CR(VI))	ポリ臭化ビ フェニル (PBB)	ポリ臭化ジ フェニル エーテル (PBDE)	フタル 酸ジブ チル (DBP)	フタル酸 ジイソ ブチル (DIBP)	フタル酸 ブチルベ ンジル (BBP)	フタル酸ビス (2-エチルヘキ シル) (DEHP)
PCB	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金属/パーツ	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スピーカー	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ケーブル	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。										

制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁺⁶)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属/パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「6」は2016年または2026年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

入力定格: 5V ≒ 0.5A

モデル: 443644. CMIIT IDはイヤークップ内側の布地の下に記載されています。

ライセンス開示情報: Bose QuietComfort Headphones (第2世代)のコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、Boseアプリを使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

Apple、Appleのロゴ、iPad、およびiPhoneはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本国内で使用されています。

Made for Appleバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されているApple製品への接続専用に設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Android、およびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

Spotifyのソフトウェアには下記のサードパーティライセンスが適用されます。

<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

Bose、Bのロゴ、QuietComfort、およびActiveSenseは、Bose Corporationの商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

シリアル番号と認証マークの位置: これらの情報は、イヤークップ内側の布地の下に記載されています。イヤークッションを取り外し、布地の上端をつまんで、情報が見えるまでゆっくりと剥がしてください。

製品情報の控え

シリアル番号: _____
モデル番号: 443644

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	11
-----------	----

BOSE アプリ

Bose アプリをダウンロードする	12
-------------------------	----

ヘッドホンの操作

電源オン	14
電源オフ	15
メディアの再生と音量調節	16
通話	17
モード	18
イマーシブオーディオ設定	18
機器の音声コントロール	18

ショートカット

ショートカットを有効化、無効化、変更する	19
ショートカットを使用する	19

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリング機能の設定変更	20
通話中のノイズキャンセリング機能について	20
ノイズキャンセリング機能のみを使用する	20

イマーシブオーディオ

イマーシブオーディオ設定	21
イマーシブオーディオ機能の設定変更	22
モードを変更する	22
ショートカットを使用する	22

リスニングモード

モード	23
ActiveSense アウェアモード	24
モードを変更する	25
お気に入りの設定し、ヘッドホンからカスタムモードを追加または削除する	25

BLUETOOTH® 接続

Bose アプリを使用して接続する	26
機器の Bluetooth メニューを使用して接続する	26
機器の接続を解除する	27
機器を再接続する	27
別の機器を接続する	28
オーディオをストリーミングする際、接続されている2つの機器を切り替える	28
前に接続していたモバイル機器を再接続する	29
Bluetooth ヘッドホンの機器リストをクリアする	29
Android™ デバイスのみ	30
Fast Pair 機能を使用して接続する	30

ケーブル接続

AUX 音声	31
USB Type-C® オーディオ	32

バッテリー

ヘッドホンを充電する	33
充電時間	34
再生時間	34
バッテリー残量の確認	34

ヘッドホンの状態

Bluetooth 接続の状態	35
バッテリーの状態	36
電源と充電の状態	36
アップデートとエラーの状態	36

補足事項

ヘッドホンを収納する	37
ヘッドホンのバッテリーのメンテナンス	39
ヘッドホンをアップデートする	39
ヘッドホンのお手入れ	39
交換部品とアクセサリ	39
保証	39
シリアル番号と認証マークの位置	40

トラブルシューティング

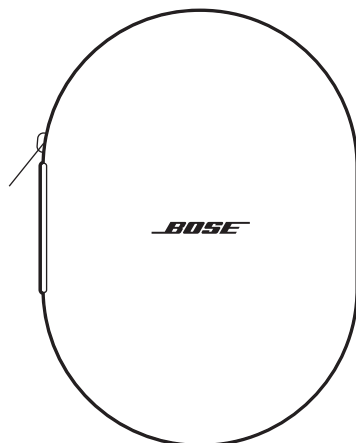
ヘッドホンをリセットする	43
ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻す	44

内容物

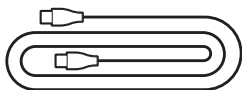
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



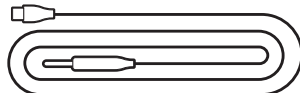
Bose QuietComfort Headphones (第2世代)



キャリーケース



USB-C® - USB-C ケーブル



USB-C - 3.5 mm ケーブル

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/qc2をご参照ください。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどの機器からヘッドホンのセットアップや操作が行えます。

このアプリを使用して、*Bluetooth* 接続の管理、ヘッドホンの設定の管理、オーディオの調整、Bose が今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

注: 他の Bose 製品用に Bose アプリを既にダウンロードしている場合は、製品リスト画面からヘッドホンを追加できます。

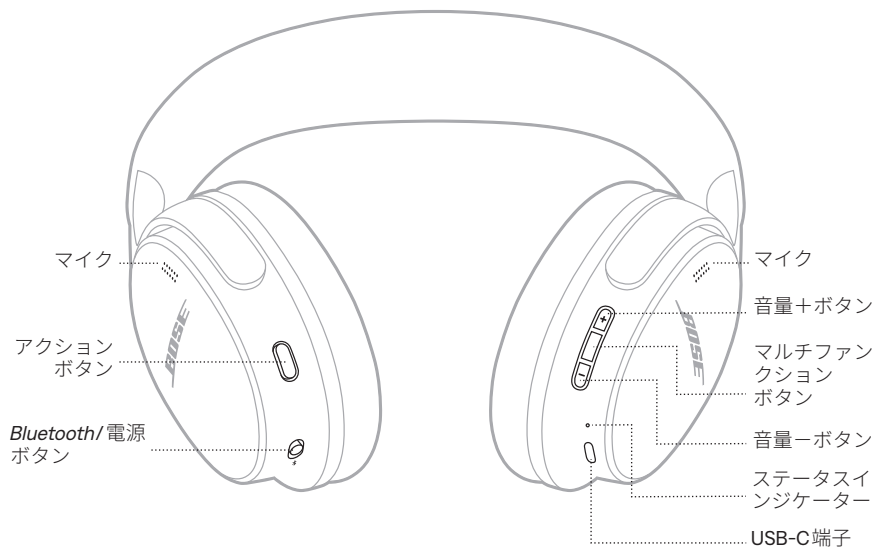
BOSE アプリをダウンロードする

1. お使いの機器で Bose アプリをダウンロードします。



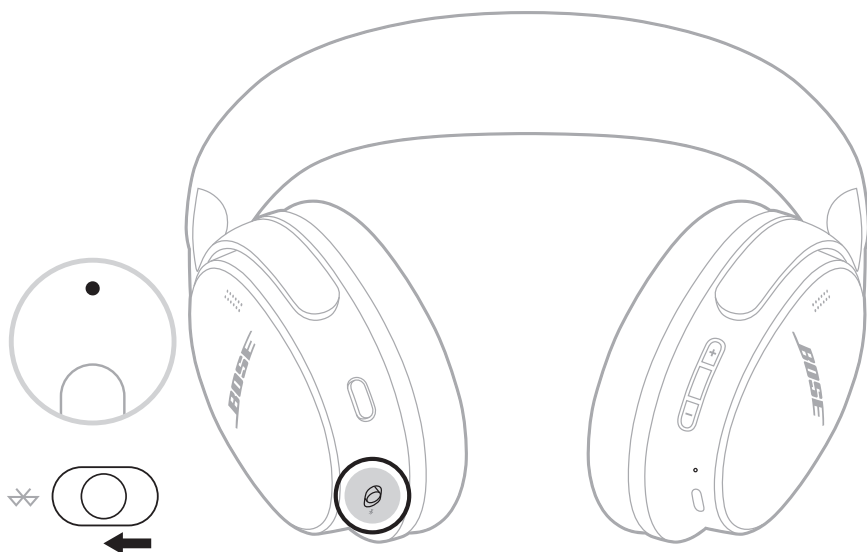
2. アプリの手順に従ってください。

ヘッドホンの操作部は左右のイヤーカップの後ろ側にあります。



電源オン

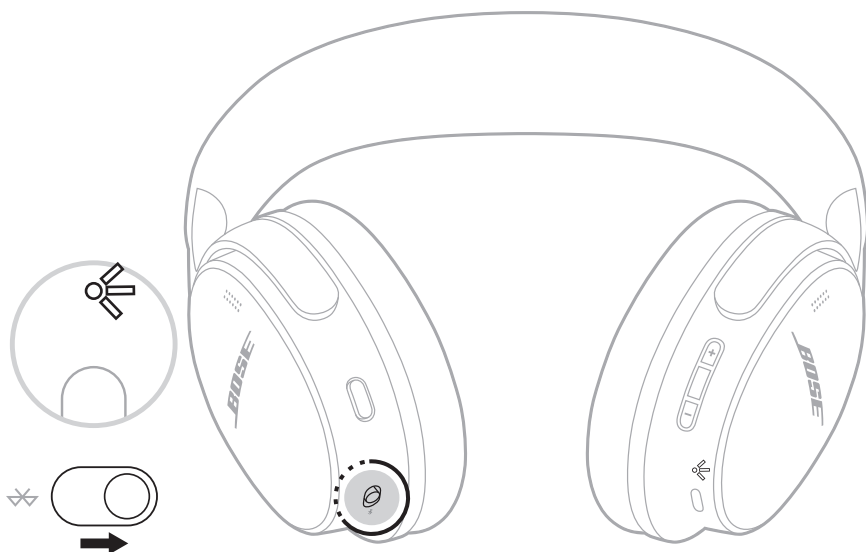
Bluetooth/電源スイッチを中央にスライドします。



数秒後、ピープ音が聞こえます。ステータスインジケーターが現在の充電状態に応じて点灯します(36ページを参照)。

電源オフ

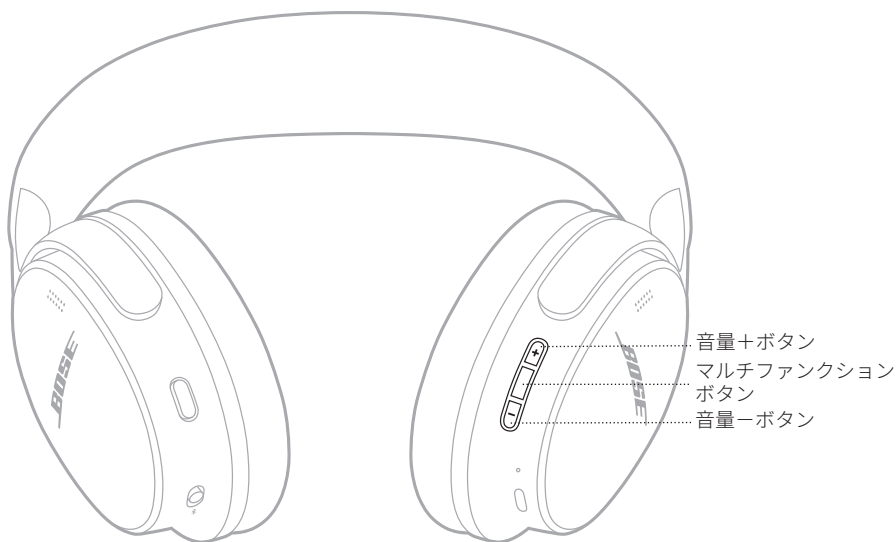
Bluetooth/電源スイッチを後ろにスライドします。



注: ヘッドホンの電源をオフにすると、ノイズキャンセリング機能もオフになります。

メディアの再生と音量調節

マルチファンクションボタンと音量ボタンで、メディアの再生と音量調節を行います。



機能	操作方法
再生/一時停止	マルチファンクションボタンを押します。
トラック送り	マルチファンクションボタンを続けて2回押します。
トラック戻し	マルチファンクションボタンを続けて3回押します。
音量を上げる	+ ボタンを押します。
音量を下げる	- ボタンを押します。

注:

- ・ 音量をすばやく上げるには、+ ボタンを長押しします。
- ・ 音量をすばやく下げるには、- ボタンを長押しします。

通話

マルチファンクションボタンで、通話機能をコントロールします。



機能	操作方法
着信に应答する	マルチファンクションボタンを押します。
着信に应答せず切る	マルチファンクションボタンを続けて2回押します。
通話中の相手を保留にして割り込み着信に应答する	通話中に割り込み着信があったら、マルチファンクションボタンを押します。
割り込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	通話中に割り込み着信があったら、マルチファンクションボタンを1秒間長押しします。

モード

アクションボタンを使用して、モード間をすばやく簡単に切り替えることができます。

モードの変更方法は、23ページをご覧ください。

イマーシブオーディオ設定

イマーシブオーディオ設定の変更については、22ページをご覧ください。

機器の音声コントロール

ショートカットを設定することで、ヘッドホンを使って機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。ヘッドホンに内蔵されているマイクが機器の外部マイクとして機能します。

ショートカットについては、19ページをご覧ください。

注: 通話中は音声コントロール機能を使用できません。

ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- オーディオ設定を順に切り替える (21ページを参照)
- Spotifyの音楽を再生する
- 機器の音声コントロール機能を使用する (18ページを参照)

ショートカットを有効化、無効化、変更する

ショートカットを有効化、無効化、変更するには、Boseアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「ショートカット」をタップします。

ショートカットを使用する

アクションボタンを長押します。



ノイズキャンセリングで周囲の不要なノイズを抑制することにより、よりクリアで臨場感のあるサウンドを再生できます。

デフォルトでは、電源をオンにするとヘッドホンはクワイエットモードになります。ノイズキャンセリングレベルは最大になります(23ページを参照)。

ノイズキャンセリング機能の設定変更

モードの変更により、プリセットされたノイズキャンセリング機能の設定を切り替えることができます。モードについては、23ページをご覧ください。

通話中のノイズキャンセリング機能について

電話をかけたり受けたりするときは、ヘッドホンのノイズキャンセリングレベルはそのときの設定が継続され、セルフボイスがONになります。セルフボイスにより、自分の声が聞こえることでより自然に話すことができます。

通話中にノイズキャンセリング機能を調整するには、モードを変更します(23ページを参照)。

注: セルフボイスを調整するには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

音楽や通話に妨げられることなく、ノイズキャンセリング機能のみを使用することができます。

1. 次のいずれかを実行します。
 - ・ 機器の接続を解除します(27ページ)。
 - ・ 機器のBluetooth機能をオフにします。
2. アクションボタンを長押しして、リスニングモードを変更します(23ページを参照)。

注: 機器を再接続するには、機器のBluetoothリストからヘッドホンを選択するか、Boseアプリを使用して接続します(12ページを参照)。

イマーシブオーディオでは、頭の中で聞こえている音を目の前に定位させ、常に音響空間のスイートスポットにいるような感覚を味わうことができます。まるでヘッドホンの外から音が聞こえてくるように感じるので、より自然なリスニング体験ができます。イマーシブオーディオは、あらゆるソースのあらゆるストリーミングコンテンツに対応し、より透明感のあるサウンドと豊かな音質で新たなレベルへと導きます。

注: 電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます。通話を終了すると、ヘッドホンは直前のイマーシブオーディオ設定に戻ります。

イマーシブオーディオ設定

設定	説明	使用するタイミング
移動	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭の動きに合わせて位置が変わります。 注: イマーシオンモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	この設定を使用することで、より安定したリスニング体験が得られます。頻繁に首を回したり、下を向いたりするような活動をしているときに最適です。
静止	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭を動かしてもその位置は変わりません。 注記: - 頭の動きを止めてから数秒後、スピーカーは現在のポジションで音像の中央を設定し直します。 - このオプションを利用するには、Bose アプリを使用します。製品コントロール画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。	最もリアルで迫力のあるリスニング体験のために使用します。静止しているときに最適です。
オフ	サウンドはヘッドホンから再生されているように聞こえます。	従来どおりの方法でリスニングしたいときや、バッテリーの消耗を抑えたいときに使用します。

イマーシブオーディオ機能の設定変更

モードを変更するか、ショートカットを使用してイマーシブオーディオ設定を順に切り替えることで、イマーシブオーディオの設定を変更できます。

ヒント: Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。

モードを変更する

モードを順に切り替えるには、アクションボタンを長押しします。モードの変更方法は、23 ページをご覧ください。

注:

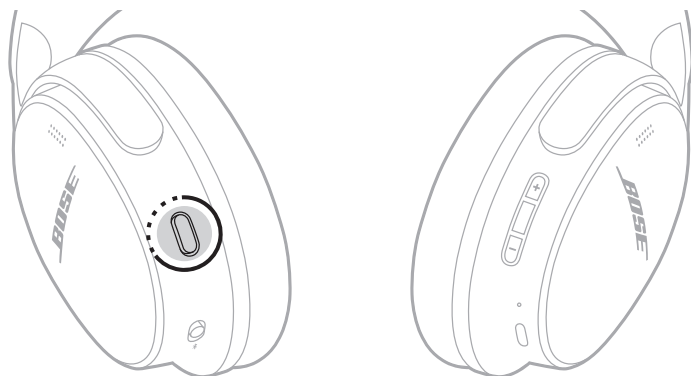
- モードを変更すると、イマーシブオーディオとノイズキャンセリングの設定が両方とも変更されます。
- また、好みのイマーシブオーディオ設定やノイズキャンセリング設定を含むカスタムモードを作成することもできます(23 ページを参照)。

ショートカットを使用する

ショートカットを使用して、現在のモードのノイズキャンセリング設定に影響を与えることなく、イマーシブオーディオ設定を順に切り替えることができます。この方法では、ヘッドホンの電源をオフにするか、モードを変更するまで、現在のモードが一時的にカスタマイズされます。

注: ヘッドホンを使ってイマーシブオーディオ設定を切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(19 ページを参照)。

1. アクションボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのイマーシブオーディオ設定が順に通知されます。

2. 希望する設定の名称が聞こえたら、アクションボタンから指を放します。

リスニングモードはプリセットされたオーディオ設定で、リスニングの好みや環境に応じて切り替えることができます。ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオの設定で構成されています。

あらかじめ設定された4つのモード（クワイエット、アウェア、イマーション、シネマ）から選択できるほか、最大7つのカスタムモードを作成できます。

モード

モード	説明
オフ	すべてのノイズコントロール設定はオフに設定されています。
クワイエット	最大のノイズキャンセリングレベルで、 Bose ステレオサウンドを楽しめます。最高レベルのノイズキャンセリング機能により、不快なノイズを遮断できます。
アウェア	最小のノイズキャンセリングレベルで、 Bose ステレオサウンドを楽しめます。ステレオ音楽を楽しみながら、周囲の音を聞くことができます。
イマーション	イマーシブオーディオが「移動」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。不快なノイズを遮断し、臨場感あふれるサウンドに浸ることができます。
シネマ	イマーシブオーディオが「静止」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。オーディオを空間化し、背景音とサウンド効果のバランスをとり、台詞の明瞭度を高めることで、ビデオコンテンツを映画のように体験できます。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、ノイズコントロール機能(ノイズキャンセリングまたはウィンドブロック)とイマーシブオーディオ設定をカスタマイズできます。 注: Bose アプリを使用して、最大7つのカスタムモードを作成できます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

注:

- デフォルトでは、電源をオンにするとヘッドホンはクワイエットモードになります。モードを切り替えた場合、ヘッドホンの電源をオンにすると最後に使用したモードになります。
- ノイズキャンセリング機能とイマーシブオーディオ機能の設定については、20 ページおよび21 ページをご覧ください。

ActiveSense アウェアモード

ActiveSenseテクノロジーを採用したアウェアモードのダイナミックなノイズキャンセリング機能により、不要なノイズを抑えながら周囲の音を聞くことができます。

ActiveSense アウェアモードでは、突然の音や大きな音が近くで発生したときに、ヘッドホンで自動的にノイズキャンセリング機能が強まり、ノイズにリスニングを妨げられることなく、周囲に注意を向けることができます。ノイズが止まると、ノイズキャンセリング機能は自動的に前の設定に戻ります。

ActiveSenseを有効にするには、Boseアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「**モード**」をタップし、「**アウェア**」>...をタップします。

モードを変更する

注: ヘッドホンのモードにアクセスするには、Bose アプリでお気に入りとして設定する必要があります。お気に入りのモードを設定するには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。デフォルトでは、クワイエット、アウェア、イマーシジョンの3つがお気に入りとして設定されています。

1. モードを順に切り替えるには、アクションボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのモードが順に通知されます。

2. 希望するモードの名称が聞こえたら、アクションボタンから指を放します。

ヒント: Bose アプリを使用してモードを変更することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

お気に入りを設定し、ヘッドホンからカスタムモードを追加または削除する

ヘッドホンのモードを追加または削除するには、製品コントロール画面の「モード」をタップし、お気に入りに設定するモードを指定します。

Bose アプリ、デバイスの *Bluetooth* メニュー、または Fast Pair 機能 (Android デバイスのみ) を使用して、ヘッドホンに機器に接続できます。

ヘッドホンのデバイスリストには、機器を最大 6 台まで登録でき、同時に 2 台まで接続できます (マルチポイント接続)。ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

注:

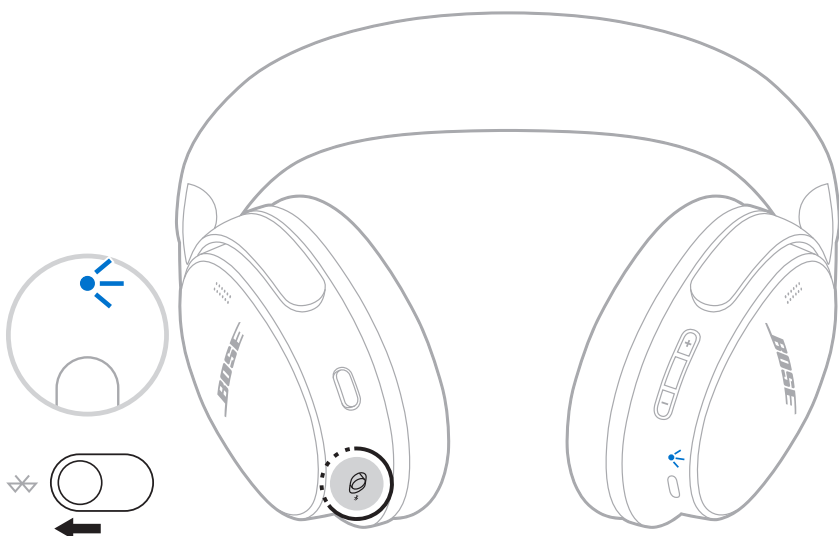
- 最も良い方法は、Bose アプリを使用して機器を設定し、接続することです (12 ページを参照)。
- Fast Pair を使用した接続については、30 ページをご覧ください。

BOSE アプリを使用して接続する

Bose アプリを使用してヘッドホンに接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、12 ページをご覧ください。

機器の BLUETOOTH メニューを使用して接続する

1. ヘッドホンの電源がオンの状態で、*Bluetooth*/電源スイッチ ✖ を前方にスライドし、ステータスインジケーターが青く点滅するまで 3 秒間長押しします。

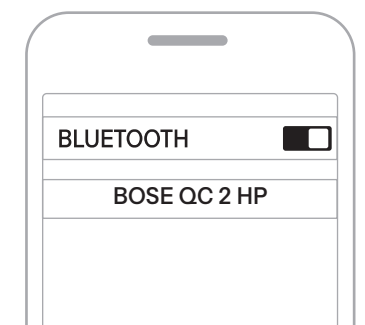


- お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

- 利用可能な製品のリストからヘッドホンを選択します。

注: Bose アプリでヘッドホンに付けた名前を探してください。ヘッドホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ステータスインジケーターが10秒間青く点灯します。

注: 既に機器が接続されている場合は、ピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが10秒間青く点灯します。

機器の接続を解除する

機器の接続を解除するには、Bose アプリを使用します。

ヒント: 機器の *Bluetooth* 設定を使って接続を解除することもできます。

機器を再接続する

本製品は電源をオンにすると、直近に接続していた2台の機器に再接続します。

注:

- 機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- 機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- マルチポイント接続機能が無効の場合、ヘッドホンは最後に接続していたモバイル機器に再接続します。

別の機器を接続する

デフォルトでは、ヘッドホンは同時に2台までの機器に接続できます(マルチポイント接続)。

別の機器を接続するには、次のいずれかのオプションを使用します。

- Bose アプリ (12 ページを参照)。
- 機器の *Bluetooth* メニュー (26 ページを参照)。
- Fast Pair (Android デバイスのみ) (30 ページを参照)。

注:

- ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- マルチポイント接続機能の管理または無効化には、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- マルチポイント接続機能が無効にすると、2台目に接続した機器の接続が解除されます。

オーディオをストリーミングする際、接続されている2つの機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

ヘッドホンがその機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

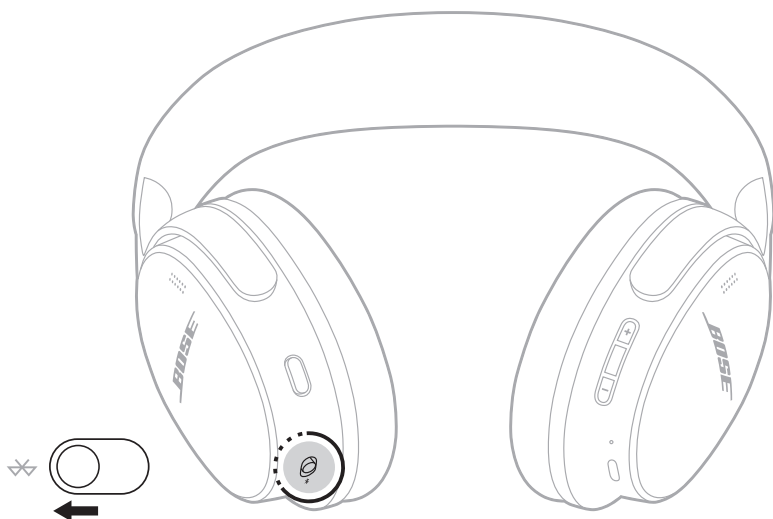
注: 電話がかかってきたら、どちらのモバイル機器で音楽を再生しているかに関係なく、どちらからの着信でも受けることができます。

前に接続していたモバイル機器を再接続する

以前接続していた機器に再接続するには、Bose アプリ(12 ページを参照)またはソース機器の *Bluetooth* 設定を使用します。

BLUETOOTH ヘッドホンの機器リストをクリアする

1. *Bluetooth*/電源スイッチを前方の ✖ マークの方へ15秒間スライドしたままにします。



2. 機器の *Bluetooth* リストからお使いのヘッドホン削除します。前に接続していたデバイスごとに繰り返します。

すべての機器が消去され、ヘッドホンが新しい機器と接続可能な状態になります。

ANDROID デバイスのみ

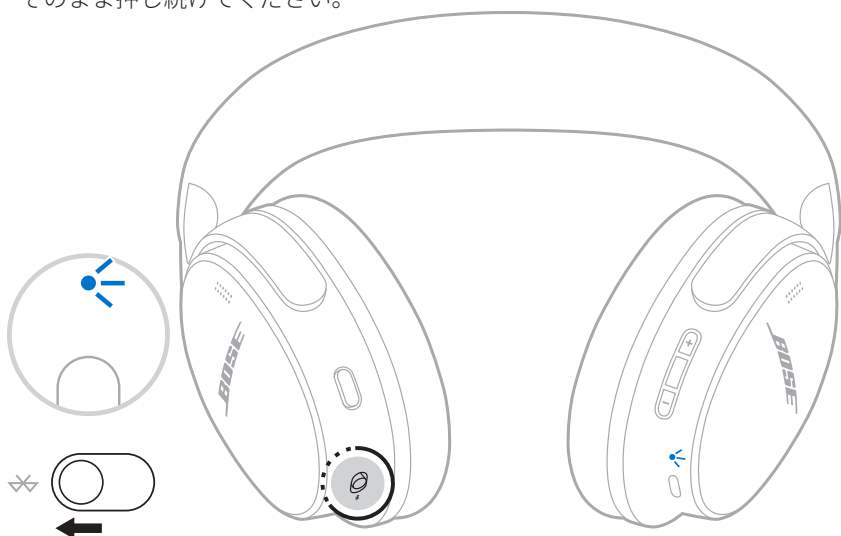
Android デバイスを使用している場合は、次の接続機能にもアクセスできます。

Fast Pair 機能を使用して接続する

タップするだけで、ヘッドホンと Android デバイスをすばやく簡単に *Bluetooth* ペアリングできます。

注:

- Fast Pair 機能を使用するには、Android 6.0 以降を実行している Android デバイスが必要です。
 - Android デバイスでは、*Bluetooth* 機能と位置情報機能がオンになっている必要があります。
1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、*Bluetooth*/電源スイッチを前方へスライドしたままにします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケータが白で2回点滅します。ステータスインジケータが青く点滅するまで、そのまま押し続けてください。



2. ヘッドホンを Android デバイスの横に置きます。

ヘッドホンのペアリングを促す通知がデバイスに表示されます。

注: 通知が表示されない場合は、デバイスで Google Play Services アプリの通知が有効になっていることを確認してください。

3. 通知をタップします。

注: 通知のボタンをタップして Bose アプリをダウンロードし、ヘッドホンの設定を完了することもできます。

AUX 音声

Bluetooth 接続ができない場合、USB-C - 3.5 mm ステレオ音声ケーブルを使用して、ソース機器の音楽を聴くことができます。

注:

- 音声ケーブルを使用するには、ヘッドホンの電源がオンになっている必要があります。
 - 通話やメディアの再生コントロールは無効になるため、ソース機器で操作する必要があります。
 - *Bluetooth* 接続とイヤークップのマイクの音声ピックアップ機能は無効になります。
 - ヘッドホンを最大限に活用するには、*Bluetooth* 接続をおすすめします。
1. ケーブルを右イヤークップの USB-C 端子に接続します。



2. ケーブルの反対側をソース機器の 3.5 mm 端子に接続します。

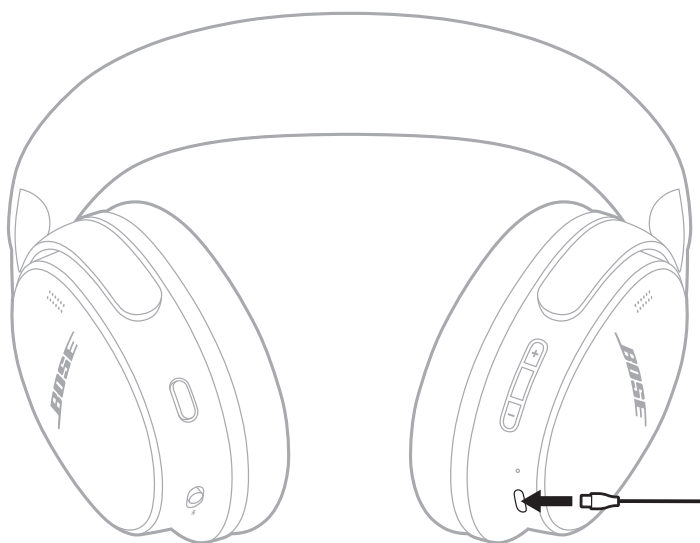
USB TYPE-C® オーディオ

ヘッドホンはUSB-Cオーディオをサポートしています。音楽を再生するには、USB-Cケーブルを使用してヘッドホンをソース機器に接続してください。

ヘッドホンのバッテリーが切れている場合は、USB-C - USB-Cケーブルを使用して外部電源に接続することで、充電中もヘッドホンを使用できます。

注:

- ヘッドホンの電源がオンになっている間も充電されます。
 - ヘッドホンのバッテリーが切れ、*Bluetooth*接続ができない状態でソース機器の音楽を聴き続けるには、USB-Cケーブルを接続します
1. USB-Cケーブルを右イヤークップのUSB-C端子に接続します。

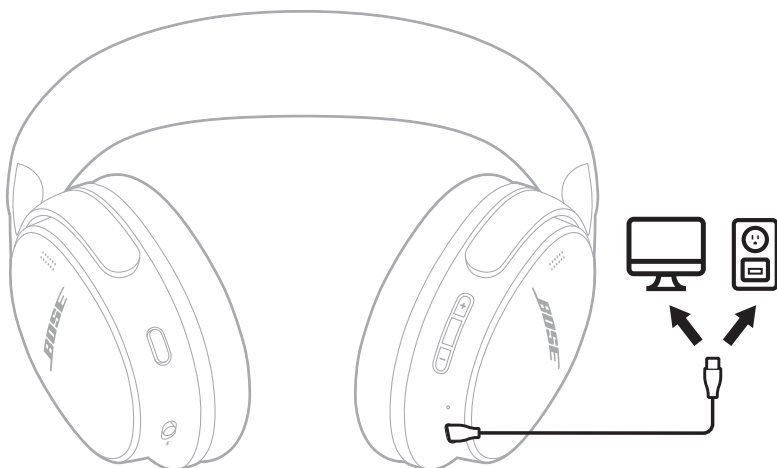


2. ケーブルのもう一方の端をソース機器のUSB-C端子に接続します。
3. ヘッドホンの電源をオンにします (14ページを参照)。

注: *Bluetooth*/電源スイッチを前方の✱マークの方へスライドし、USB-C接続デバイスと以前接続していた*Bluetooth*デバイスを切り替えます (29ページを参照)。

ヘッドホンを充電する

1. USB-Cケーブルを右イヤークップのUSB-C端子に接続します。
2. 充電ケーブルのもう一方の端を、パソコンやウォールチャージャーなどのUSB-C電源に接続します。



ヘッドホンの充電が始まると、ステータスインジケーターがオレンジ色に点灯します。ヘッドホンの充電が完了すると、ステータスインジケーターが白に点灯します。

注:

- ヘッドホンは充電中に *Bluetooth* またはUSB オーディオモードで使用できます (「USB Type-C® オーディオ」(32 ページ)を参照)。
- ヘッドホンの電源をオフにすると、より速く充電できます (「充電時間」(34 ページ)を参照)。

充電時間

ヘッドホンを完全に充電するには最長**3時間**かかります¹。

注: ヘッドホンの使用中は充電速度が遅くなります。

再生時間

完全に充電した場合、ヘッドホンを最大以下の時間使用できます。

- ・ ノイズキャンセリングをオンにし、イマーシブオーディオをオフにした状態で、**24時間**。
- ・ ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオをオンにした状態で、**18時間**。

ヘッドホンのバッテリー残量が少なくなった場合、**15分間**充電すると、ノイズキャンセリングをオンにし、イマーシブオーディオをオフにした状態で、ヘッドホンを最大**2.5時間**使用できます。

バッテリー残量の確認

バッテリー残量を目で確認するには、右イヤークップにあるステータスインジケーターをご覧ください。詳しくは、**36ページ**をご覧ください。

¹ Bose QuietComfort Headphones (第2世代)の製品サンプルを使用し、2025年4月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)でヘッドホンを**15分間**充電する急速充電テストを実施し、その後、音量を再生ラウドネス**75dB SPL**、**3バンドEQ**をゼロに設定して、イマーシブオーディオをオフにしたクワイエットモード(フルノイズキャンセリング)でオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大**2.5時間**でした。イマーシブオーディオをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大**2時間**でした。ヘッドホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)ヘッドホンを**100%**充電することで求めました。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

ステータスインジケータは右イヤークップにあります。ステータスインジケータはヘッドホンの状態に応じて点灯します。



BLUETOOTH接続の状態

Bluetooth接続の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の点滅	接続準備完了
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリスト消去

バッテリーの状態

バッテリーの状態を示します。

インジケーターの状態	システムの状態
白の点灯	充電完了
オレンジの点灯	使用可能な残量

ヒント: Bose アプリまたはペアリング済みのソース機器を使用して、バッテリー残量を確認することもできます。

電源と充電の状態

電源と充電の状態を示します。

インジケーターの状態	システムの状態
オレンジの点灯	充電中
白の点灯	充電完了

アップデートとエラーの状態

アップデートとエラーの状態を示します。

インジケーターの状態	システムの状態
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中(無線経由)
白の速い点滅(10 秒間)	ソフトウェアアップデート中(USB 経由)
白の点滅(3 秒間)	リセット
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

ヘッドホンを収納する

持ち運びに便利のようにイヤークップを回転して収納することができます。
ヘッドホンケースに収納します。

1. 両手で左右のイヤークップを持ちます。



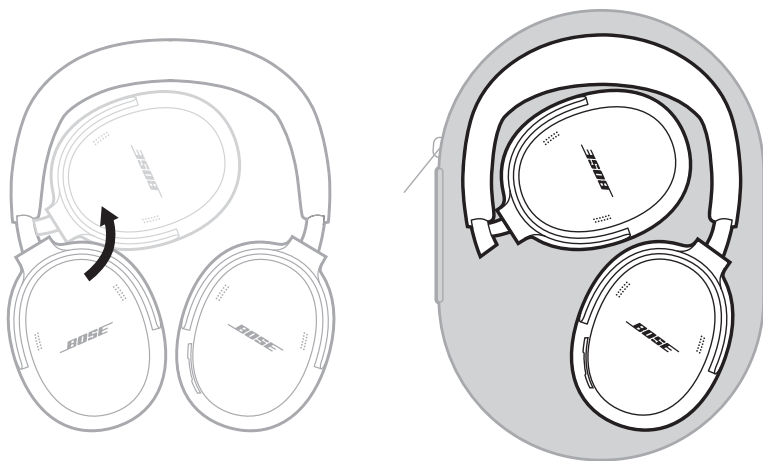
2. 両方のイヤークップを平らになるように回します。



3. イヤーカップをヘッドバンドの方にスライドさせます。



4. 左イヤーカップをヘッドバンド側に折りたたみ、ヘッドホンケースに収納します。



ヘッドホンのバッテリーのメンテナンス

本製品では、Bose認定の互換性のある電池/バッテリーのみをご使用ください。バッテリーに関するサービスオプションについては、Boseカスタマーサービスに問い合わせるか、次のサイトをご参照ください。support.Bose.com/qc2

ヘッドホンをアップデートする

ヘッドホンは、Boseアプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

Bose Updater Webサイトを利用して、ヘッドホンをアップデートすることもできます。パソコンでbtu.Bose.comにアクセスして、画面の手順に従ってください。

ヘッドホンのお手入れ

ヘッドホンは定期的にお手入れすることをおすすめします。ヘッドバンドやその他の外面をお手入れする必要がある場合は、少し湿らせた布でやさしく拭いてください。

- お手入れは水で湿らせた布で行ってください。洗剤などは使用しないでください。端子やイヤークップからヘッドホンに水分が入らないように注意してください。
- 端子に汚れやゴミを押し込まないでください。端子やイヤークップの内部に空気を吹き込んだり、掃除機をかけたりしないでください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/qc2

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

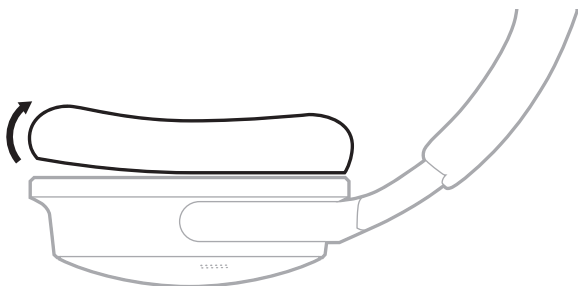
製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

シリアル番号と認証マークの位置

ヒント: Bose アプリを使用してシリアル番号を確認することもできます。このオプションは設定メニューから設定できます。

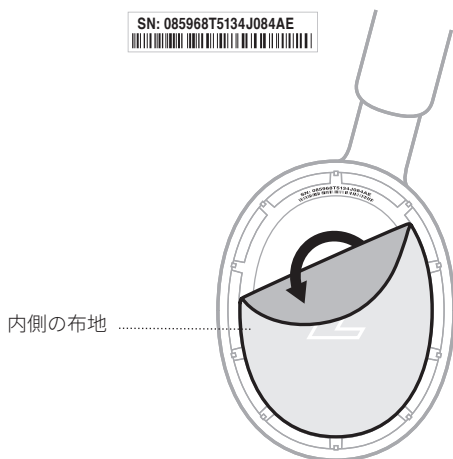
シリアル番号と認証マークは、左イヤークップ内側の布地の下に記載されています。内側の布地は、イヤークップ内部の部品を覆い、保護する役割を果たしています。

1. 左イヤークップのクッションの端をつまみ、イヤークップからそっと引き離して、イヤークップ内側の縁にある突起をすべて外します。

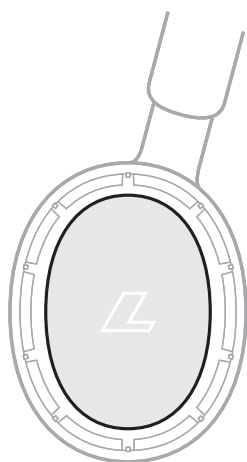


2. 布地の上端をつまんで、情報が見えるまでゆっくりと剥がしてください。

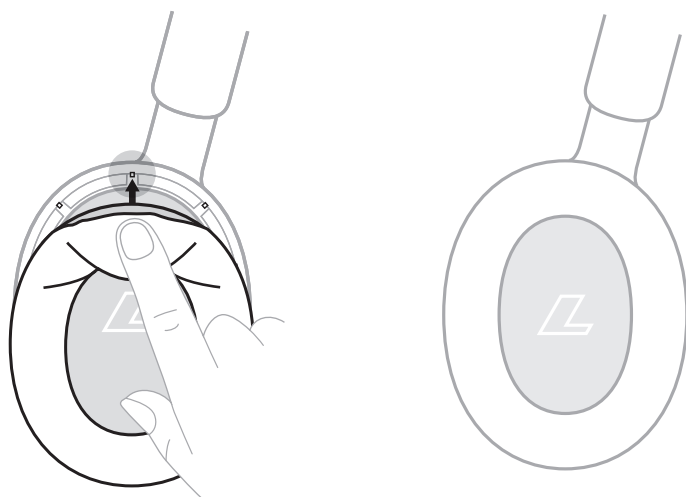
注意: ヘッドホンが破損する恐れがありますので、布地を押し込んだり、イヤークップ内部のほかの部品を外したりしないでください。



3. 布地を元の位置に固定します。



4. クッションの縁をイヤークップの縁に押し当て、カチッと音がして固定されるまで押し込みます。すべての突起が定位置に収まるまで、イヤークップの縁に沿って押し続けます。



注: 適切な音響性能を確保するには、突起がすべてクッションに固定されている必要があります。

トラブルシューティング

トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースには、次のサイトからアクセスできます。support.Bose.com/qc2-og

それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

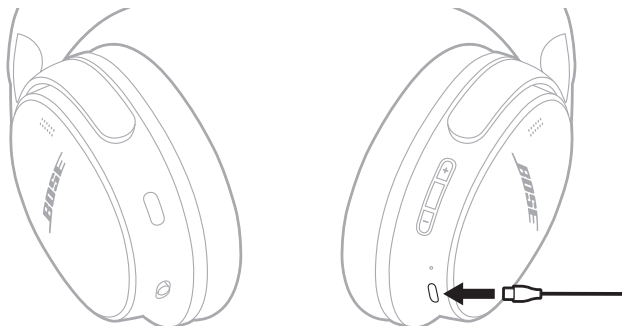
次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

ヘッドホンのリセットする

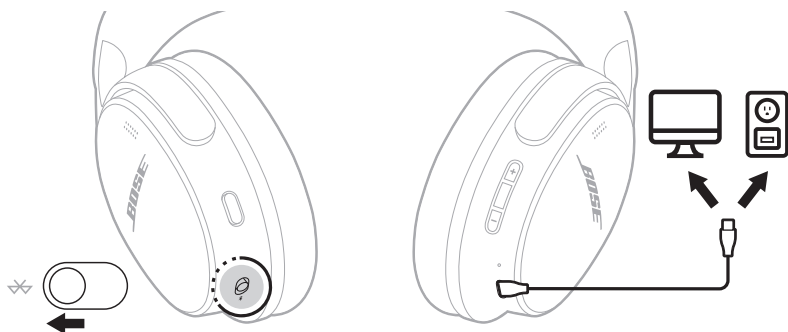
ヘッドホンが反応しない場合は、リセットすることができます。

ヘッドホンのリセットすると、製品のコントロールがリセットされ、ヘッドホンが再起動します。機器の設定は消去されません。

1. モバイル機器の **Bluetooth** リストからヘッドホンを削除します。
2. USB-Cケーブルを右イヤークップのUSB-C端子に接続します。



3. **Bluetooth/電源** スwitchを前方へスライドしたまま、USB-Cケーブルのもう一方の端をパソコンやウォールチャージャーなどのUSB-C電源に接続します。



4. USBケーブルをUSB-C電源に接続したら、**Bluetooth/電源** ボタンから指を放します。

リセットが完了すると、ステータスインジケータが3秒間白く点滅し、現在の充電状態に応じて点灯します (36ページを参照)。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.Bose.com/qc2 でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻す

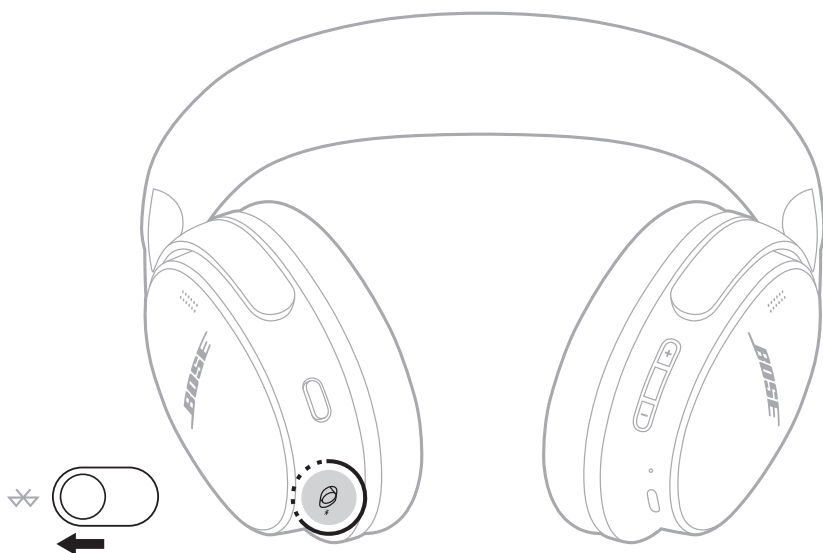
工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、ヘッドホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてヘッドホンをセットアップするときのように設定することができます。

工場出荷時の設定へのリセットは、ヘッドホンに問題がある場合や、Boseカスタマーサービスから指示された場合に行うようにしてください。

1. モバイル機器の **Bluetooth** リストからヘッドホンを削除します。
2. Bose アプリを使用して、Bose アカウントからヘッドホンを削除します。

注: Bose アプリで Bose アカウントからヘッドホンを削除する方法の詳細については、次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/qc2

3. **Bluetooth**/電源スイッチを前方の ✱ マークの方へ20秒間スライドしたままにします。



復元が完了すると、ステータスインジケーターが青く点滅します。これでヘッドホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.Bose.com/qc2 でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。



AM901307-0010